

富山県建築組合連合会だより

匠
たぐみ

No.201
令和元年
12月20日

発行所 一般社団法人 富山県建築組合連合会
事務所 富山市西荒屋25-4
☎076-428-8255
発行責任者 松田 昇
編集責任者 広報委員会

県域を越えて広がる 支援の輪

長野県水害被災地応急仮設住宅建設に 県連より15名が就労支援



第一次募集で建設に参加した富山県連のメンバー

10月12日に襲来した台風19号は、関東、信越、東北各県に甚大な被害をもたらし、140ヶ所での河川堤防の決壊、災害死者98名、約9万棟の住宅浸水など昨年の西日本豪雨災害を上回るものとなり、地域インフラの崩壊による住民生活や地域産業への影響は計り知れないものとなった。そして今もなお多くの住民が避難生活を余儀なく

されている。
我々の近県である長野県においても、千曲川の氾濫、堤防決壊により5名の死者と約9,000棟に及ぶ大災害にみまわれ、新幹線車両基地が深く浸水したニュース映像は記憶に刻まれている。

長野県水害被災地 応急仮設住宅建設支援

このような状況のもと、長野県では、被災地住民が安心して暮らせる応急仮設住宅15棟の建設が決定し、内55棟については、我々の仲間である長野県建設労働組合連合会が担当することとなった。しかしながら、被災直後の混乱という事情もあり、建設のための大工職人が大幅に不足していることから、全建総連を通じて、建設のための就労支援要請が北陸3県県連、新潟、関東地区県連になされ、遠くは広島、山口県連からの参加もあり、着工することができた。当県か

らは15名の組合員が呼びかけに応じ、応急仮設住宅建設支援のため汗を流した。
そして11月23日には予定通り完成し、11月末に県に引き渡しがなされた。

被災地組合員のための 支援金の贈呈

台風19号により被災された我々の仲間は、全国で616名（内長野県105名）にのぼり、被災された組合員の一助とするため、全建総連を通じて組合員1人あたり60円の支援金の要請があり、当県では、186,480円を全建総連に預託した。

また、北信越地協を通じて支援として当県から168,000円（組合員1人あたり40円）を石川県連を通じて贈呈した。

◆長野県における応急仮設住宅建設に向けた従事者の方々
海野広明、海苔利行、岡田忠、海野義明、八倉巻馨、堺谷凌（魚津支部）、釈永雄次郎、栗田

応急仮設住宅建設に参加して 富山支部 稗苗 良二

10月12日夜、台風19号がもたらした猛烈な風雨によって千曲川流域が氾濫し、人が、家々が、工場が濁流にのまれ、多くの人々が家を失って避難生活を強いられました。その後、仮設堤防の完成や交通再開、そして支援の輪が広がり、長野県連からの大工職人募集の要請で、私は水橋支部の青木さんと長野に行くことにしました。



現場では1週間前にすでに建方が終わり、形ができ始めていました。私たちは外部板張り担当です。現場には全国から集まった50～60人の大工さんが方言丸出しで仕事に励んでおられ、その姿にあたかも自分の仕事のような気持ちになっていくのが不思議で、朝礼、終礼のごとに他県の人たちと打ち解けるのに時間はかかりませんでした。その中でひととき注目を集めたのは、山口県から親子で参加していた27歳の女性大工さんです。ヘルメットの後ろから短めのポニーテールを出し、スピード感があって手際も良く、男子と比べても十分戦えていました。私の知り合いにも何人か女性見習い大工がいるので、参考に聞かせたらきっと自信に繋がるでしょう。

1週間という短い日々でしたが、人生で初めて自分の技術のかけらが人の役に立ったような気がして、参加させていただき感謝しています。災害は必ず起こります。家族と自分の命を守る備えと心構えが大事だと、実感した長野でした。



定期大会の様子

2019 10 30

全建総連 第60回定期大会 『年間増勢を力に、賃金・単価引き上げ、 若者を選ばれる建設産業をめざそう』 をスローガンに掲げ開催

全建総連の第60回定期大会が、10月30日～11月1日に熊本県「熊本市民会館」を主会場として全国から53県・14,453人の組合員・役員が参集し開催された。本県からは松田県連会長、丸田国保理事長ら役員、事務局長の9名が参加した。開催当日は、第59期の事業報告についての審議・承認、2日目は、あらかじめ指定された分科会に分かれ、今年度の事業活動を踏まえて次年度事業方針について熱心な討議が行われた。最終日の3日目は、

次年度の活動方針の審議・承認がなされ、建設国保の育成・強化、建設キャリアアップ登録推進、建設業の働き方改革対応、会計予算案などが決議された。
また、大会最終日には役員改選が行われ、松田県連会長が引き続き中央執行委員として選任されるとともに、副中央執行委員長として北信越地協から石川県連会長の松本吉弘氏が選任された。続いて功労者への大会表彰授与式が行われ、本県からは津幡正秋県連副会長（新川地協加積支部）が受賞した。



▲大会表彰を受けた津幡副会長



災害地見舞と就労者激励に訪れた北信越地協の各県連会長

今秋表彰を受けられた方々

富山県国保団体連合会功労者表彰

丸田 和重氏（黒部支部）

富山県建築文化賞（建築功労賞）

城 良則氏（魚津支部）

富山県職業能力開発協会表彰

城 良則氏（魚津支部）

認定職業訓練功労者表彰

城 良則氏（魚津支部）

すぐれた技能者表彰

高熊 茂氏（井波支部）

伝統的技能者表彰

林 政夫氏（八尾支部）

射水市技能功労者表彰

澤田 忠幸氏（氷見支部）

二、飯田政浩（水橋支部）、橋爪隆志（射水支部）、横尾宗憲（新湊支部）、矢倉聖司（城端支部）

お疲れ様でした

小矢部市技能者表彰

白井 正義氏（小矢部支部）

森瀬 三郎氏（射水支部）

沖野 満弘氏（新湊支部）

哲司（立山支部）、奥村健二、稗苗良二（富山支部）、青木修

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

県下工業高校2校合同の未来授業2019が開催

青年部が建築大工部門の講師として参加



参加した高校生と指導した各団体の皆さん

11月22日（金）高岡工業高校において、富山県高校建築志の未来授業2019が開催されました。高岡工業高校と富山工業高校の1年生140名が木工、左官、瓦、板金など7部門に分かれて授業を受け、内27名を私たち建築組合が担当し教えました。午前中の2時間で13名を、午後の2時間で14名を担当しました。

授業のテーマは「小さな小屋組みをつくる」で、梁や束など1人に1つの材料を1人の組合員が担当しました。

授業の最後には、生徒たちと話し合いの時間を持ちました。生徒たちから、大工とはどのような仕事をするのかとか、仕事の大変さなど、いろいろ質問されました。みんな大工という仕事に大変興味を持っていることを肌で感じる事ができ、将来大工になりたいという気持ちを一杯持っている生徒が多くいました。



▲マンツーマンで指導する青年部員

き添い教えました。ノミとさしがねは授業で使ったことがあるとのことでしたが、実際に私たちの前で使ってもらおうとうまく使えなかったため、丁寧に教えました。釘打ちは上手な生徒もいました。

将来、教えた生徒たちが大工になるのが楽しみです。

（青年部 梧桐議長）

とやま古民家伝統情報バンク 秋の視察研修会レポート

（越後の豪農のスケールに驚き）



▲月岡温泉「白玉の湯華鳳」の美人女将を入れて

10月23日（水）・24日（木）の両日、13名の参加の下、「新潟の豪農の館」視察研修が実施された。一行が最初に訪れたのは、「今代司酒蔵」。飲み比べコーナーで純米酒が楽しめるなど、酒好きにはたまらない視察地であった。

2日目は、いよいよメインの視察地である越後の豪農の館へ。最初は市島邸で、敷地面積約



旧新潟税関

次は、「旧新潟関税庁舎」。幕末の開港五港のうち唯一現存する税関庁舎である。建築様式は基本洋風建築だが、外壁はなまこ壁仕様であることなど、当時の大工が見よう見真似で相当に背伸びして洋風仕様にすることが伺い知れた。

1日目の視察を終えての宿泊先は、新潟を代表する温泉地・月岡温泉。美人の湯とおいしい料理や酒を楽しんだ一夜となった。



▲伊藤邸見学風景



▶カメラアングルではありません
三角形の伊藤邸別邸

次は北方文化博物館へ。市島家と同じく千町歩地主の一角である伊藤家の旧邸宅が寄贈され造られた博物館である。敷地、建物とも市島邸を上回る規模であり、当時の豪農の力を伺い知ることが出来た。例えば、庭園を観るための縁側ひさしは、視界が柱で邪魔にならないよう梁材として16間の一本ものの杉を福島から取り寄せ使用したり、

8,000坪、建坪約600坪との説明を受け、その規模の大きさに驚かされた。市島家は越後の5大千町歩地主（千町歩＝1000ha）の一人で、売薬業や海産物販売、金融業により財をなしたとのこと。さっそく昭和初期建造の屋敷を巡回したが、期待に反して、そのたまたまは豪農のオーラを感じさせない質素なものだった。その理由を案内者に尋ねると、時の当主は、学問、文学、美術への興味が旺盛で、そちらの方へ財を注がれたとのことであった。

別邸として三角形の建屋、けやき材で作られた来客専用の玄関など、遊び心を取り入れた期待を裏切らない豪農らしい邸宅であった。

お・知・ら・せ

各種資格を取られた方はご確認ください 資格取得報奨金の申請を！

県連では、組合員で平成30年度4月以降に資格を取得された方に、資格区分に応じて報奨金（1万円～3千円）を支給しております。せっかくの制度ですので、ご活用ください。

なお、申請有効期間は資格取得日から3年以内です。支給対象とする資格は決まっておりますので、県連ホームページでご確認願います。申請方法、申請書は県連ホームページからダウンロードできます。

インタビュー 棟梁に聴く

すっきりとしたデザインと断熱性に優れ快適で長持ちする家づくり

新川地協 魚津支部
廣瀬 将人さん(41歳)



Q 現在の会社を立ち上げるまでの経緯は？
A 最初に入社したハウスメーカーは2年で退職。そこは100%プレカットだったため、実践の現場では墨付けも刻みもしたことがなかった。プレカットだけではできないことを他で学びたいと思い、父の紹介で地元魚津の工務店に入社、6年修行した。その後、父が経営する廣瀬ハウジングに入り、大工と棟梁をこなしながら、社長の補佐や設計、現場管理、営業などさまざまな業務をした。2016年、父が現場から離れることになったため、現在のまる工務店株式会社へ法人化、現在に至っている。

Q 家を建てる時のこだわりは？
A すっきりとしたデザインと断熱性に優れ快適に住める、強く長く持ち続ける安心な家づくりを目指している。以前、有名建築家伊礼智氏の設計講座に参加し、設計プランのコンテストで敢闘賞をいただいた。伊礼氏の設計デザインは余分なものがないシンプルでデザインが特徴だが、講座に参加したことで私自身の家づくりも変わったと思う。無駄なもの、そぎ落とし、天井を低くして家の重心を下げることで安定感が増し、視点も横に広がりをもたせた。天井が低い分、使用する資材が少なくなるので、コストダウンにも繋がった。

Q 大工として心がけていることは？
A 以前、ある保育所で県産材を使った木製遊具の設計施工を担当し、園児達から毎日声援を受けた。現在大工職人のなり手が少ない中、子供達から「大工さんって、かっこいいなあ」と思ってもらえるような仕事の仕方や振る舞いを心がけている。軽トラではなく真っ赤なスポーツカーに乗っているのもその一つ。スポーツカーで現場に現れ、颯爽と仕事をこなす姿を見て、将来大工になりたいと思う子供達が一人でも増えてくれたらいいと思う。



▲素敵な空間が広がるおしゃれなBar



▲設計施行を担当した「平屋の家」と「黒い家」



◀「まるの小屋」と命名された会社事務所。1年間仕事終わりに少しずつ一人で作った。もう少しで完成の予定。

仕事の段取りなどスマホ(携帯)を多用する建築職人は要注意!!

スマホ・携帯・カーナビ等の
「ながら運転」罰則強化!!

道路交通法が改正され、運転中に携帯電話やスマートフォン、カーナビ装置などを使用したり注視する「ながら」運転への罰則が強化されました。

施行日は、**2019年12月1日**です。



携帯電話使用等	改正前	改正後
交通の危険を生じさせた場合	【罰 則】 3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金 【違反点数】 2点 (酒気帯び点数 14点) 【反 則 金】 普通車 9,000円 等	【罰 則】 1年以下の懲役又は30万円以下の罰金 【違反点数】 6点→ 免許停止 (酒気帯び点数 16点)→ 免許取消し 【非反則行為となり、全て罰則が適用されることになります】
	【罰 則】 5万円以下の罰金 【違反点数】 1点 (酒気帯び点数 14点) 【反 則 金】 大型車 7,000円 普通車 6,000円 二輪車 6,000円 原付車 5,000円	【罰 則】 6ヶ月以下の懲役又は10万円以下の罰金 【違反点数】 3点(酒気帯び点数 15点)→ 免許取消し 【反 則 金】 大型車 25,000円 普通車 18,000円 二輪車 15,000円 原付車 12,000円
保 持		

組合活動を通して

建青協
通信



富山地協 岩瀬支部
布目 健真

今回記事を担当させて頂いたく、富山地協岩瀬支部の布目です。よろしくお願いたします。私が組合に入会したのは、今から約15年前になります。しかし、入会した当初の目的は保険

のためだけでした。なぜ保険のためだけだったのかというのは、一つに、叔父が組合に入っていたことがあります。休みの日でも顔を合わせるの嫌だなどという思いもありました。

大会に参加しました。それからはいろいろな活動に参加するようになり、少しずつですが、同世代の人たちと話をできるようになりました。元々、自分から進んで話をするタイプではないので溶け込むのに時間がかかりましたが、今では富山地協以外の人たちとも交流し始め、仕事の話はもちろん、くだらないことでも話ができるようになりました。

それが、7年前に変化が訪れました。私自身の年齢は30近くでしたが、周りには年配の方しかいなかったため、同世代の知り合いがいまいませんでした。それはそれで仕事のことを教えてもらったり、かわいがってもらったりよかったです。同世代の知り合いが欲しいと強く思っていた時期でした。もし組合活動に参加すれば知り合いも増えるのではないかと思いついた。行動に移すことはできず、そんな時、私の所に新年会の話があり、参加することになりました。

新年会では当時の青年部長さんに声を掛けられ、ボウリングの環境づくりに微力ながら頑張らせていただきます。

この組合活動ですが、個人的な感想で言えば、もともと早くから参加すればよかったと思っています。これからは積極的に参加して、縦と横のつながりを広めていきたいと思います。

あなたの技でチャレンジしてみませんか

全国青年技能競技大会出場者募集

と き/令和2年9月19日～21日

と ころ/群馬県高崎市「G メッセ群馬」

出場資格/建築大工で36歳以下の組合員

なお、4月に大会にむけての勉強会、5月に予選会を予定しています。詳しくは、2月頃にホームページ等で案内します。



●物故会員名

富山	射水	城端	支部	氏名	年齢
岡本	大井	坂井	氏名	隆	72歳
正信	重雄				68歳
					88歳

心よりご冥福をお祈り申し上げます。
以上3名

投稿記事を大募集!

親しまれる紙面作りを目指して、会員の皆さんからの投稿記事を募集しています。
写真(ペット・孫・風景・作品など)、趣味紹介、地域自慢など何でもOK。
投稿をお待ちしています!

健康・体力づくりのすすめ

第3回 脂質異常症について

『脂質異常症』は、脂質でドロドロになった血液成分が血管壁に入り込んで、血管壁を厚くしたり、厚くなった血管壁が破裂して血管をふさいだりして、血液の流れを阻害する病気です。



放っておくと、動脈硬化症を進行させ、心臓病や脳卒中を起こしてしまいます。

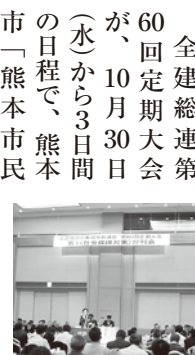


～重症化予防のポイント～

- 高血圧などほかの病気も治療する
- 週に1度は30分以上の有酸素運動を行う
- コレステロールの多い食べ物や生成しやすい食べ物を控える
- 脂っこいものをとり過ぎない



全建総連定期大会
社会保障対策分科会



全建総連第60回定期大会が、10月30日(水)から3日間の日程で、熊本市「熊本市民会館」において開催されました。社会保障対策分科会は大会2日目に開催され、代議員など県連・組合47県連組織196名が参加し、松尾社保対部長からの議案提案を経て、情勢・運動方針についての活発な討議が行われました。特別報告として、香川県建設国保組合から「特定健診・特定保健指導や保険者インセンティブへの取り組み」、佐賀県連から「ハガキ要請行動への取り組み」の体験報告を受けました。当国保からは、丸田理事長、高見常務理事、山本事務局長が参加しました。



国保組合予算要求
中央総決起大会

11月20日(水)午後1時30分より、東京・日比谷公園大音楽堂にて、「全建総連11・20賃金・単価引き上げ・予算要求中

予算確保に向けた
ハガキ要請行動

国保組合に対する国庫補助の現行水準確保を求める「ハガキ要請行動(秋)」を全国の仲間と共に組合員一人2枚記載運動で取り組んだ結果、目標枚数100%超えとなる7,654枚が

建設国保の
ホームページを開設

県連のホームページが刷新された機会に併せ、当建設国保のホームページが組み込まれた仕様となりましたので、ご覧ください。

- ・情報セキュリティ責任者 山本芳晴事務局長
- ・機密文書管理統括責任者 水橋有美給付係長
- ・機密文書管理責任者 山本芳晴事務局長
- ・機密文書管理責任者 水橋有美給付係長

法令遵守(コンプライアンス)実践計画について

富山県建設国保組合法令遵守実践計画に基づく、2019年度のコンプライアンスに関する体制を決定しましたので報告いたします。

富山県国保団体連合会功労者表彰



このたび、当国保組合の丸田和重理事長が、富山県国民健康保険団体連合会より令和元年度国保事業功労者として表彰されました。おめでとうございます。

